

山の楽しい思い出を壊さないために  
ゴミは持ち帰りましょう  
——2015年清掃登山・クリーンハイクアピール——

日本勤労者山岳連盟は、「豊かな自然は将来にわたる国民の共有財産」であることから、「山を汚さず、山をいためず、傷つけた山を復元する努力は登山者の務め」（労山自然保護憲章）として、6月の第1日曜日（東北、北海道は7月）を清掃登山・クリーンハイクの日として、全国で取り組んでいます。

今年で42年目を迎えますが、昨年は、36都道府県の地方組織で取り組みました。この行動には528の山岳会・山の会が464のコースで清掃登山を行いました。参加者は一般参加の方々も含め9,777名が参加、回収したゴミは7.8トンでした。

山からゴミをなくすことは、私たち登山者のモラルの問題であると考えています。日本勤労者山岳連盟は、8年前（2007年2月）「労山自然保護憲章」を制定し、山を汚さず山からゴミを一掃し、山に負担をかけない登り方を心がけ、壊れた登山道の整備、山や自然の変化を定期的に調査するなど山岳環境を守るための活動も行っています。労山のクリーンハイク活動は、日本の山をきれいにするだけでなく、世界の登山者にクリーンハイクの心を広げています。今年も伝統のクリーンハイクを、力を合わせて推進しましょう。

いつまでも楽しい山歩きができるように、登山者・ハイカーのみなさんにも下記のようなご協力を呼びかけます。

記

1、ゴミは山に捨てないようにし、持ち帰りましょう。

2、捨てられているゴミを見つけたら、ひろって持ち帰ってください。  
清掃登山を日常的に心がけ、登山者・ハイカー、行楽客にゴミの持ち帰りをアピールしましょう。

3、すべての登山者・ハイカーが山と緑の番人・山岳自然を守る番人としての自覚をもって山歩きを楽しみましょう。



2015年6月  
日本勤労者山岳連盟